



JPI催しのご案内

公益社団法人日本包装技術協会

2015
7

開催要領
会 場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日 時 平成27年7月23日(木) [第1部]10:30~12:00 [第2部]13:15~15:00 [第3部]15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第56回包装情報ステーション**10:30~12:00**

【テーマ】包装貨物の寸法等を中心とした規格化の現状(JIS Z0105 “包装貨物・包装モジュール寸法” と、JIS Z0161 “ユニットロード寸法” 改正のポイント)

物流システムの基準となる包装モジュール寸法(JIS Z0105)とユニットロード寸法(JIS Z0161)が、平成27年3月20日に改正・公示されました。この改正に当たり、改正に至る背景や改正のポイント、改正の及ぼす影響などにつきまして、下記の項目を中心にご案内いたします。

- JIS規格改正に至る背景について、ISO改正の経緯を含めて解説するとともに、改正のポイントを整理
- サプライチェーンマネジメントにおける包装モジュール寸法・ユニットロード寸法の標準化の考え方と今回の改正の整合性について
- 日本の包装モジュール寸法やユニットロード寸法(パレットサイズ等)の実態について、業界別の標準サイズを例にあげながら、既存資料や統計データなどをもとに分析
- 社会的背景(ドライバーの労務管理の徹底、労働力不足等)を踏まえた包装モジュール寸法等の標準化の今後の考え方と現状の課題の整理
- 改正されたJIS規格の普及と、物流現場で働く人が喜ぶ標準化の実現に向けて

【講 師】株式会社日通総合研究所 物流技術環境部 主任研究員 室 賀 利 一 氏

第2部 第207回輸送包装研究会**13:15~15:00**

【テーマ】船舶貨物用振動試験の提案と青果物輸送損傷について—PSDの作成から小笠原産パッションフルーツの輸送振動の影響について—

みなさまの生活物資の多くは物流システムを通じ生産者から消費者へと運ばれています。物流の輸送機関は貨物用自動車・船舶・鉄道等があります。特に都内では、主に貨物用自動車を利用されています。これらの包装貨物の梱包状態を評価するために、貨物用自動車の場合、実際の輸送振動環境を最も適確に再現するランダム振動試験方法(JIS-Z-0232やMIL-STD-810など)があります。都内では島しょがあり、そこへの物資は船舶で輸送されます。しかし、船舶用貨物はそれらが存在せず、貨物用自動車のランダム振動試験条件で代用しています。本公演は、包装貨物のランダム振動試験について解説し、特に重要であるPSDの作成方法もランダム振動試験方法に研究をもとに解説します。

さらに、実際に船舶で輸送される品物として小笠原産パッションフルーツ「台農1号」の振動損傷について研究を実施した内容について解説します。パッションフルーツの完熟果実は、東京地方で消費されたとき、実際と味が異なるという指摘が寄せられていました。これは輸送する際、長時間の船舶「おがさわら丸」およびトラック輸送過程において振動・衝撃を受けことから、品質を損ねていると懸念されています。そこで前研究を受け、「おがさわら丸」の振動測定におけるピーク加速度を元に完熟果実に負荷し、完熟までの要する保存期間を経て、果実の品質が劣化するかどうかについて糖度・有機酸の観点から評価した結果を解説します。

【講 師】東京都立産業技術研究センター 機械技術グループ 小 西 毅 氏
【コーディネーター】(株)トーモク 開発営業部 部長代理 包装管理士 矢 島 康 夫 氏
ソニー(株) 物流センター 物流技術部 プロジェクト推進課 パッケージエンジニアリングマネジャー 原 和 弘 氏

第3部 第208回輸送包装研究会**15:15~17:00**

【テーマ】段ボール箱の擦れ傷の発生挙動

複数個を並べた段ボール箱に対し、水平方向に加振すると、隣り合った箱同士が交互に寄りかかる現象(ロッキング現象)が生じ、実輸送で見られる擦れ傷と類似した損傷が発生する。輸送振動でもロッキング現象が起こることが考えられる。擦れ傷の対策を検討する上で、実輸送で起きる箱の動きを模擬した方法で擦れ傷を再現できることが望ましい。そこで本講演では、段ボール箱の擦れ傷の特徴について解説するとともに、トラック輸送振動の場合を例として、振動試験機によるロッキングの擦れ傷の再現方法について紹介する。また、摩擦試験機による実験事例より、段ボールの含水分が及ぼす擦れ傷への影響についても触れる。

【講 師】レンゴー株式会社 包装技術部 包装評価センター 部長代理 包装専士 東 山 哲 氏
【コーディネーター】(株)トーモク 包装技術部 東京包装技術センター 課長代理 包装管理士 石 谷 真 氏
全国農業協同組合連合会 営農販売企画部 営農・技術センター 生産資材研究室 調査役 包装管理士 打 田 宏 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

7月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部・第3部

7 月度の見学会はございません。

第53回全日本包装技術研究大会【福岡大会】

～発表者募集のご案内～

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で53回目を迎え、会場を電機ビル共創館に移し、盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

☆☆☆☆☆ 発表者募集要領 ☆☆☆☆☆

【開催日】 平成27年11月19日(木)～20日(金)
【発表内容】 1件あたり25分間(20分発表、5分質疑)
【募集件数】 64件 *定員になり次第締め切り
【申込期間】 平成27年8月28日(金)まで
【発表料金】 無料 *記念品を贈呈します
【優秀選定】 発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選定します

☆☆☆☆☆ 発表内容 ☆☆☆☆☆

包装又は包装資材に関する研究/新技術・新システム・新素材の紹介/廃棄・リサイクルの容易性/包装の現場における改善・合理化の事例/省力・省資源・コスト低減の事例など

☆☆☆☆☆ 発表部会 ☆☆☆☆☆

①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会
⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会
⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

暮らしの包装商品展2015 ららぽーと TOKYO-BAY にて開催決定！

10th Anniversary！－ おかげさまで、暮らしの包装商品展は、10回目を迎えます！

暮らしの包装商品展は、一般消費者の方へ、普段、暮らしにおいて何気なく使用している包装の役割や重要性を、楽しくわかりやすくお伝えし、理解を深めていただくことを目的としております。隔年で開催し、今回、記念すべき10回目を迎える本展では、より多くの消費者の方が集まる商業施設にて開催いたします。ご興味をお持ちの方は、事務局までご一報ください。

名 称	暮らしの包装商品展2015
コンセプト	知ってなっとく！包装容器の新事実！ ～ 身近な製品からみる包装の知られざる機能やひみつを紹介します ～
会 期	2015年9月11日(金)・12日(土)・13日(日)の3日間
会 場	ららぽーと TOKYO-BAY「中央広場」 ※最寄駅：JR「南船橋」駅より徒歩約5分
施設来店者数	35,000人 / 平日、80,000～100,000人 / 休日
本展来場対象	ヤングファミリー層

◆お問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 暮らしの包装商品展2015担当 TEL:03-3543-1189 e-mail:info@jpi-expo.jp

第20回化粧品包装セミナー

－化粧品容器のトレンドと最新技術動向－

開催要領

◆日 時：平成27年7月17日(金) 12:30～16:40
◆主 催：公益社団法人日本包装技術協会
◆参加費：会員16,200円 ・会員三名同時申し込み12,960円 一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

プログラム

12:30～13:30	① 化粧品業界で使用するラベル材料の紹介 ② 偽造防止技術 真贋判定印刷 「シールベクター」	① リンテック㈱ 技術開発室 営業技術グループ 係長 原田 健司 氏 ② ㈱友功社 代表取締役社長 大野 玄太郎 氏
13:40～14:30	「レーザー加工を用いた化粧品容器への表面加飾 について－加工技術とデザインの融合－」	紀伊産業㈱ 化粧品営業部 課長 片山 就介 氏
14:40～15:30	化粧品容器の最新情報 (形態別トレンドについて)	㈱トキフ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 井上 隆 氏
15:40～16:40	講師と企画委員のディスカッション	講師(片山講師・井上講師) 企画員(5名)

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045東京都中央区築地4-1-110F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>